



波濤

<http://hatoh.net/>

第58号

発行 放送大学神奈川同窓会
編集委員会
責任者 佐葉 慎二
発行日 2020年1月11日
会員数 606名(2019年10月1日現在)

「友あり遠方より来たる また楽しからずや」

会長 佐葉慎二

放送大学は毎年5千人以上の方が卒業され、30年前の第1回の卒業以来その数は延べ112千人を超えてます。このうち全国の同窓会には現在12,500人の会員がおられます。

私も同窓会連合会会長の立場で、皆さんとそれぞれに大変活発に会員同士の交流を深めておられている様子を伺い、放送大学における同窓会の役割の大さに感心しています。

放送大学で学ぶ目的は言うまでもなく、新たな知識を習得し、また学び直しすることで豊かな教養を身に付け、全科履修生にとってはその結果、学位の取得ができます。

一方、放送大学には年齢や人生経験・知識・考え方も様々な学生がおられ、我々は一緒に学ぶことによって、そうした方々と知り合うことが出来ます。人間にとってこうした多様な人の接触による刺激は成長の促進剤です。私はこのことを論

卒業証書・学位記授与式を終えて
放送大学神奈川学習センター所長
福富洋志

2019年9月21日(土)卒業証書・学位記授与式が行われました。本センター所属の学部卒業者は145名、大学院修士課程修了者は1名です。式典は、卒業生68名、客員教授



語の「友あり遠方より来たる。また楽しからずや」という言葉の中に見出しています。この「遠方」という言葉の中には地理的な遠さだけではなく、自分と異なったキャリアという意味も含まれているのではないかでしょうか。ただ放送大学では一般の大学のようなキャンパスライフを送る機会が少なく、学生同士の交わりは希薄で、大学への帰属意識も高くありません。その様な中で、同窓会は共に学んだ仲間との絆を基に、会員同士の交流から得られる刺激を通じて、自己を見直し、成長させることのできる貴重な場になっています。これこそが放送大学にとって同窓会の存在意義と考えます。

神奈川同窓会には600人程の会員がおられます。フェスタ・ヨコハマやホームカミングデー、講演会や伝統芸能鑑賞会、施設見学会、映画上映会、茶道、太極拳などの同好会活動、会報『波濤』や波濤ネットとホームページによる情報交換などを通じて会員同士の交流が盛んです。私自身このような交流を通して新たな刺激を受けて、人生が一段と豊かになった思いがしています。会員の皆様も是非こうした様々な機会に、積極的に参加され友達との交流をお楽しみください。

10名、そして佐葉同窓会会長の出席のもとに開かれました。放送大学で学習をされた方は、2018年度末に累計約160万人、そのうち全科履修生は累計約30万人、卒業生は累計約10万人になります。

当日、卒業証書・学位記をお一人おひとりに授与しましたが、どの方も手渡す瞬間にそれまでの緊張した面持ちが一転して弾けるような笑顔になりました。それまでの道のりが大変であったことが、この笑顔になったのでしょう。

卒業、修了を達成された皆様に心からお祝いを申し上げます。同窓会にも新しい力が加わったことと存じます。

式典後に神奈川同窓会と神奈川学習センターの共催で行われた祝賀会では、今回初めて卒業される学生の方々全員からスピーチがありました。貴重な経験や感想をお話しいただき、現代社会の多様性と学習センターが様々な方々の共生の場となっていること、そして放送大学での学びが新しい人生の展開に結びついていることを実感いたしました。真面目にこつこつと学業を続けていらっしゃる皆様に、これまで以上に力になるセンターを作ることの重要性を改めて認識致しました。

フェスタ・ヨコハマ

第33回フェスタ・ヨコハマが、2019年(令和元年)8月31日(土)～9月1日(日)の2日間開催されました。講演会や映画会、大岡寄席、ダンスパーティ、学生・同窓生の作品展示に加え、同窓会主催の催しなど多彩な催しが行われました。

学生や同窓生、OB、教職員のほか、関東地区の放送大学同窓会からも多数参加されました。なお神奈川同窓会からも関東地区の同窓会の学園祭に参加して交流を深めています。

記念講演会

9月1日(日)の10時から神奈川学習センター第8・9講義室において、「フェスタ・ヨコハマ」の記念講演会が開催されました。

今年度の講師は横浜国立大学教育人間科学部教授の木村 昌彦先生です。演題は「オリンピックへ向けた柔道の戦い～勝利追求主義そして最強かつ最高の選手作り～」です。間近に迫った2020 東京オリンピックを目指して日本柔道チームの戦いについてご講演をいただきました。

冒頭、「我々は学ぶことをやめたときに、教えることをやめなければならない」という指導者的心構えからお話を始められ、木村先生が関わられた過去のオリンピックなどにおける日本柔道チームが満足の得られた大会や、そうならなかつた大会の行動を実例として挙げられ、コーチングの方法

神奈川学習センターには他のセンターに誇るべきものがいくつもあります。神奈川同窓会はその一つです。会員相互の交流はもとより、センターの支援、社会貢献も含めた活発な活動は、他の範となるものです。冒頭に記しましたように、全科履修生として入学された方々の三人に一人しか卒業に至っていません。通学制の大学と同じ水準を期待することは現実的ではありませんが、一人でも多くの入学者が卒業を達成できるよう、先輩卒業生である皆様のお力やお知恵をぜひいただきたいと思っております。

最後になりましたが、本年30周年を迎える神奈川同窓会のますますのご発展をお祈りいたします。

や指導者の在り方を力説されました。

リーダーの役割については「高い理想を語り現実をとらえ行動する」こと。また言葉の重要性について触れられ「指導者として人間を磨くことは言葉を磨くことに通じる」という大変興味深いお話をされました。勝利至上主義ではなく勝利追求主義として日本柔道界の東京オリンピックに向けた戦いについて熱意溢れる講演でした。

時間の制約があり残念ながら質疑応答の時間が取れませんでしたが、柔道界に多くの人脉があり、1992年バルセロナオリンピックVTR班から2016年リオデジャネイロオリンピック柔道選手団チームリーダーまで、七つのオリンピックに携わってこられた実績と、多くの指導者・選手との交流の中から最強の選手作りを果たすための最良の日本柔道チームのあるべき姿についての数々の話題など、指導者・リーダーの担うべき役割についてユーモアたっぷりに講演していただいた木村先生に、参加者一同とともに感謝しました。 (木下義則)



同窓会の活動

2日間開催されたフェスタ・ヨコハマでの同窓会の主な活動内容は次のとおりです。

ホームカミングデー

卒業生で現在は学籍のない方でも、母校愛は変わることがあります。安心して戻れる場所のある「ホームカミングデー」は、今回も盛況でした。福富所長、河内事務長を囲んでの軽食付き茶話会は満席でした。



太極拳

会員の澤村さんの指導の下、呼吸法を取り入れた太極拳を体験し、尹さんの剣舞も披露されました。



お茶席

お茶席は毎年人気があるので、二日目の1日（日）は5回行いました。



大福引大会

フェスタのファイナルを飾るのは「大福引大会」で賞品も豪華でした。 (金田保男)



2019年9月学位記授与式・祝賀会

令和になって、初めての学位記授与式が9月21日（土）14時から第8講義室で挙行されました。式典に先立ち、ロビーでは同窓会茶道同好会が桜茶を振舞い、お祝いの気持ちをお伝えしました。

卒業・修了生は146名、式典には68名が出席。福富所長より卒業証書・学位記の授与が行われました。福富所長の祝辞は、「人生100年、社会は常に変化していく。卒業後も学びを忘れずに同窓会やサークル等での活動を期待しています」とのお話でした。

来賓祝辞として佐棄同窓会会长からは、「放送大学は生涯学習の場でもあり、学んだことを社会還元していきましょう。同窓会に加入していただき、共に学び進んでいきたいものです」と話されました。続いて、10名の客員教授からもそれぞれ祝辞をいただきました。

所長表彰は成績優秀の深澤 泉さん、最高齢の本橋俊弘さん。卒業生代表として、深澤 泉さんが挨拶をされました。最後に、名誉学生になられた上代益栄さんの紹介と挨拶があり閉式となりました。

式典終了後、第7講義室で学習センターと同窓会共催による祝賀茶話会が開催され、39名の卒業生が参加されました。初めて卒業された12名の方のスピーチがあり、喜びや感動、苦労話などをご披露され盛会裡に終了しました。 (飯塚武夫)



卒業生の言葉

学ぶ10年



遠田 雄子

私が放送大学に入学したのは、2009年でした。その前に大学入学資格検定に合格したもの、なかなかやりたいことと金銭面で合う大学がなく、しばらく通信制高校で勉強をし直していました。

ある日その高校で放送大学のポスターを見つけ、勉強したい心理学があり、学費も安かったので見学に行きました。職員の方に丁寧に説明して頂き、入学を決めました。自宅から一番近い「神奈川学習センター」に選科履修生として入学し、その後全科履修生に再入学しました。

初めは何の科目を履修していいかわからなくて、なかなか単位が取れず悩んでいた時に、K-サポートの「学習相談」に行きました。それから長い間、学習から就職の相談まで幅広くのって頂きました。相談員の皆さまのアドバイスを頂き、少しずつですが単位も取れるようになり、いつしか自分も「K-サポートの機関誌チーム」の仲間に加わりました。学習センターでのイベントの撮影をして顔も覚えて頂き、お話する仲間も増えました。単位認定試験でも「この科目のテストは難しかったよ」「これは簡単でしたよ」と情報交換する仲間もできました。

フェスタ・ヨコハマでは、サークル協議会事務局から、講演された先生に花束贈呈のお話を頂き緊張しましたが、何回かお手伝いをしているうちにいつしか「花束の人」と廊下で声をかけてもらえるようになりました。

面接授業の思い出は、「心理学実験」のレポートをまとめるのがとても大変なことでした。文章を考え、グラフを作り、それが締切に間に合った時には、「やればできるんだ」と自信が湧きました。そしてもう一つ、私が苦手なのは人前で話すことで、面接授業での発表が上手くいかず、これから の課題の一つになりました。10月に再入学して、「学ぶ11年目」に入りましたが、「人間と文化」コースで卒業研究にもチャレンジしたいと思っております。先輩方から教えて頂き、私も後輩にその経験をお伝えできればと思います。

卒業生の言葉

令和の最初の学位記授与式

谷本 美知子



卒業の認定のお知らせ（学位記授与式の案内）が届いた時には「ヤッター！」という気持ちで、思わずガツツポーズを取りました。

2013年10月に入学して6年かかりましたが、卒業にたどり着けたことを大変うれしく思いました。この令和の最初の学位記授与式での卒業は、とても感慨深いものです。

茶話会の時に、「入学のきっかけは何ですか？」と聞かれて、「認定心理士を目指すため」と答えたのですが、よくよく思い起こせば、孫の成長に寄り添いたいと思い、「心理と教育」を学び始めたのでした。成長していく中で悩みや、思春期・青年期の頃には、モヤモヤとした辛い時期があるだろうけれど、話を少しでも聞いて理解することができたら、という思いがあったのです。

誰かに話しをすると、自分の心の考えを整理することが出来て、自分なりの道が見えてくるものだと思います。それが出来なければ、日記を書いたり、俳句や短歌・詩歌などに気持ちを表現するのも一つの方法のようです。「ケ・セラ・セラ～なるようになるわ～」と口ずさみながら。

そうして学んでいくうちに、『教育心理学概論』に出会い、「人は、学び続ける動物である。人は、何かが少しわかってくると、その先にさらに知りたいことが出てくることが多いからだ」とあり、人は、どんな時に学ぶか。①経験から学ぶ ②他人から教えてもらって学ぶ③考え方を作り変えて勝手に学ぶ（自分で自分の考えをよくする）そして、「経験を次に活かすことが学びなのだ」とあります。私は学ぶ喜びを伝えていきたいと思います。

「お金を残すのは下、仕事を残すのは中、人を残すのは上」といいますが、これから未来を担ってくれる子どもたちを育てていくお手伝いが出来ればと考えています。

卒業生の言葉

放送大学にまなびつつあること

佐々木幹夫



始めに懺悔します。放送大学の群馬・埼玉・千葉・東京第一・東京第二・神奈川学習センターで、学生受入れが開始されたのは1985年（昭和60年）です。日本の人口を代

表する団塊の世代で学生番号は、1985年の一期生の者と来れば面接授業では“生涯学習の鏡”との視線を勝手に感じてしまいます。そのたびに、「ちゃんと勉強しないでごめんなさい」と頭を下げていました。62歳2011年まで。

経営コンサルタントの私が放送大学に求めたのは、サブスクリプション。つまり定額で興味のある科目を聴き放題、学び放題なのであります。休学2回、通信課題も単位認定試験もパスだらけ。今でも履修成績照会を見るのが怖いです。もしメンター役がおられたら「！」ときつく指導されたでしょうね。

懺悔が済んだので、顔を上げて放送大学に学びつつあることを話します。本格始動は62歳のとき。家族とも仕事ともぶつかり、どん底感からの這い上がりを模索したのがきっかけです。「高齢者になってしまった！だったら高齢者のプロになろう。生活・企業経営×心理学×ICTの連続スペシャリストになってサードエイジを生きよう！」と決意しました。

先ずは、現業のリアルを学び「社会と産業」コースを2014年9月に卒業。続いて「中高年の心理臨床—ブレーメンの音楽隊」に生き方を学ぶなど、「心理と教育」コースを2016年9月に卒業。同時に産業カウンセラー、国家資格キャリアコンサルタントも取得。続いて「情報社会のユニバーサルデザイン—多様性と人権」に現代の基盤を学ぶ、など「情報」コースを2019年9月に卒業。この間、大学院修士選科生として「臨床心理面接特論—困難な事例との出会い」、「精神医学特論—統合失調症」に大場登先生、石丸昌彦先生、糸川昌成先生などから仕事の姿勢を学びつつあります。

この10月からは「生活と福祉」コースで老人の“DIY イズム—生かされているだけでは勿体ないと思いません？”を探します。

卒業生ショートメッセージ

◆横浜市 三木嘉一：60歳定年時に入学し現在80歳。15年間の再就職期もあり、最後の5年間の勉強でやっと卒業させていただきました。2度目の卒業です。

初回と比べて自分の好きな科目（主に歴史）ばかり学べましたので楽しく充足感のある学習期間でした。

◆横浜市 谷本美知子：6年前に入学して学び始めた頃には、ちゃんと卒業できるか不安な思いもありました。

サークルに入り、例会やバス旅行、一泊研修、俳句の会、そしてパッチワーク（女性の会）いろいろなところで、先輩方のアドバイスや励ましたをいただいてここまで来られました。

皆々様に感謝申し上げます。

◆横浜市 宮園雄飛：放送大学とは2001年からの長い付き合いで趣味のようなもの。5年前に介護問題で退職し今年就活。ブランク期間は嫌われました。

放送大学の「情報」コースで学んだことを評価してくださるIT企業もあり、何とか就職できました。感謝！



会員投稿

学ぶということ：生涯学習



伊東廣明

ホームカミングデーに参加する楽しみは、仲間に会うことと、太極拳（呼吸法）を体験することでした。その結果は、ともに満足するものでした。

センター長を囲んでの懇談会に参加したメンバーは、生涯学習を実践している同窓生であることを実感しました。

仲間が元気に学習を続け、サークル活動で活躍している姿は、パネルを通じても確認することが出来ました。大変うれしく、羨ましくも思いました。

懇談会終了後、太極拳の体験に臨みました。日頃、剣道を指導している時に力を抜くことに苦心しています。何としてもあの太極拳の動きを会得したいと思いましたが、なんと自分の動きがギコチナイものでした。しかも、呼吸のリズムがアンバランスでした。腹式呼吸で鼻から吸って鼻から吐く、或は、鼻から吸って口から吐く事は知っていましたが、吐ききることが出来ていなかつたようです。

講師は、呼吸の大切さについて、「息を吸うことよりも吐ききることが大事ですよ」そして、「人間は5日位何も食べなくても生きています。しかし、呼吸は5分も止まれば・・・」と。ドキッとする説明でした。

実は、私の母親は5年ほど前に、私の腕の中で心肺停止状態になってしまいました。私は、長男に救急車の手配を頼み、自分でも驚くほど、慌てることなく、心臓マッサージを実施しました。その結果、4～5分で普段と息を吹き返しました。救命救急の受講経験もあり、剣道指導者として、常に意識していたことが幸いしたと思います。小学校の施設利用者を対象に、最近、救命救急の講習会を開催しました。その時も呼吸の大切さの話があり、心臓マッサージ5分での生還率は50%とのことでした。母親はその生還者だったのです。現在102歳で健在です。

人生100歳時代を迎え、健康に留意し、興味があることは、学ぶ機会を造り、学ぶことを通じて社会参加し、社会貢献することを心掛けたいと思っています。

弘明寺サロン・レポート

● 第67回：2019年8月3日（土）

第14回映画観賞会「ドクトル・ジバゴ」の後、懇親会を開催。弘明寺商店街「うおや」にて。

「参加者：映画観賞会36名、懇親会22名」

● 第68回：2019年9月7日（土）

講演会：グランドスラムを超えて

—これまでの回想と生涯学習—

講師：杉山英雄さん（同窓会会員）

2018年度名誉学生として学長表彰を授与された杉山英雄さんの講演会。学部全6コースを卒業された感想のほか、学ばれた知識を生かし、神奈川県立相模原総合産業高校等の教員、在住されている海老名市の特別職（非常勤）として選挙管理委員長代理のほか行政関連の3つの審議会でご活躍中の経験談などユニークな内容でした。

「参加者：24名」

● 第69回：2019年10月11日（金）

講演会と実技：太極拳をやってみよう

—体を動かし健康維持を目指しましょう—

講師：澤村雅嗣さん（同窓会理事）

実技アシスタント：尹秀蘭さん（同窓会会員）

澤村さんは2003年遼寧師範大学（中国：大連市）に3年間、語学留学をされた際、体育の授業で『簡化24式太極拳』を学ばされました。

現在、同窓会の会内同好会で活動されています。今回は人生100年時代に、生涯学習を継続するためには健康が前提であり、身体活動が不可欠という考え方から、高齢者にも適した身体活動として太極拳のお話と実技指導をしていただきました。

「参加者：22名」

（高橋照夫）



「春の行事」能楽鑑賞

6月28日(金)、天候にも恵まれ、参加者36名は国立能楽堂で能・狂言を楽しみました。集合写真撮影後、資料展示室で能楽資料を見学。11時より満席の中、全員が最高の正面席で義経と静御前の別れの舞、平家の怨霊との太刀廻り(能:船弁慶)、間抜けた2人の山賊の遺書騒ぎ(狂言:山文立)を堪能しました。今回の流派は、能はシテ(主役)五流派(観世、宝生、金春、金剛、喜多)の中の観世流、狂言は現在、二流派(大蔵、和泉)の中の和泉流です。

13時20分過ぎより、併設のお食事処「向日葵」で昼食のひと時を過ごし、団欒のあと14時頃お開きとなりました。
(勝山悌治)



「秋の行事」3か所の資料館の見学

11月1日(金)、小春日和の中、参加者32名はJR桜木町駅から歩いて海上保安資料館に到着し、説明を受けました。当館では、特に九州南西海域工作船事件にかかる工作船および回収物などが展示されており、正当防衛射撃とその後の自爆の生々しさに衝撃を受けました。

次に横浜税関資料展示室に移動し入室。DVDによる麻薬・銃器・爆発物などの取り締まり、関税の徴収、貿易の円滑化の取り組みなどの紹介がありました。そのあと館内の説明を受けそれぞれ展示品を見学。

その次は横浜開港資料館に入館し、横浜開港などの歴史資料を見学しました。そして老舗(天吉)で和食と共にし、団欒のあと帰路につきました。
(勝山悌治)



社会貢献活動(PIJ)

2019年9月末までの会員からのご寄付は392,600円(193口・手数料支払い後)で、18年同期の347,010円(186口)より45,590円増でした。総会開催通知送付の際にお願いした寄付の呼びかけに対して会員の皆様が応えて下さった結果と、心からお礼を申し上げます。

呼びかけの際に、今まで5名の子ども達の支援をしてきましたが、あと1名か2名支援する子どもの数を増やしたい旨お願いしたところ、お陰様で、2019年10月から6名の子ども達を支援することができるようになりました。

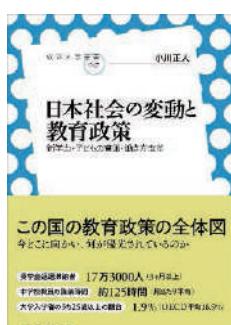
また、これまでネパールの女の子の支援をしてきましたが、この子の住む地域がプランの目標に到達したため、支援終了となり、代わってフィリピンの5歳の男の子の支援が始まりました。

このように支援する子ども達の地区が支援目標達成と聞くのは嬉しいことです。
(石橋正彦)

社会貢献活動(あしなが育英会)

神奈川同窓会では放送大学叢書の販売収益金全額を「あしなが育英会」に寄付しています。

放送大学叢書NO.47『日本社会の変動と教育政策』NO.48『現代中国—都市と農村の70年』の新刊書2冊を紹介します。



東京大学名誉教授の小川正人(教育行政学)が「新学力」「子どもの貧困・教育費」「学校・教員の働き方」の3つのテーマで語っています。



放送大学名誉教授の浜口允子(中国現代史)が1949年10月1日中華人民共和国建国後70周年!都市と農村の二つの歴史を解説。都市と農村に越えがたい経済格差があり、福祉、医療、教育なども含めた生活の質の違いを語っています。
(村田カズ子)

神奈川同窓会

創立30周年記念事業のお知らせ

神奈川同窓会は1990年10月20日に発足し、2020年は創立30周年を迎えます。これを記念し次のような記念行事を企画しています。会員皆様にはこの機会に是非ご参加いただきますようお願いいたします。

2020年5月15日(金)学習センターで、10時からの第31回定例総会にひきつづき、30周年記念式典を行います。記念式典ではスライド上映による30年間の神奈川同窓会の歩みの紹介、放送大学学長による記念講演、プラン(PIJ)を通じての途上国の子ども達の支援活動について、パネルディスカッションを行います。

記念式典終了後、18時より学外の会場で記念祝賀会を行います。

また、記念事業の一環として「30周年記念誌」を『波濤60号』(特別号)として2020年12月に発行します。(石橋正彦)

第15回映画上映会のお知らせ

神奈川同窓会では映画上映会を下記の内容で開催します。皆様のご参加をお待ちしています。

映画タイトル：「七人の侍」

日時：2020年2月8日(土) 13:00～17:20
(上映時間は約210分)

会場：神奈川学習センター第7講義室

解説：「七人の侍」は、1954年(昭和29年)4月に公開された日本映画で、監督は黒澤 明。主演は三船敏郎と志村 喬。

日本の戦国時代を舞台とし、野武士の略奪により困窮した百姓と7人の侍が、身分差による軋轢を乗り越えながら協力して野武士の一団と戦う物語。
(寺村紀美夫)



《事務局だより》

2019年7月12日(『波濤』57号掲載)以降の新入会者は下記の通り10名の方です。
心より歓迎申し上げます。(敬称略)

青井泰子	佐々木幹夫	三浦孝紀
大澤常雄	谷本美知子	塚越由紀子
古林秀樹	宮園雄飛	三木嘉一
遠田雄子		

《お願い》

住居移転された方は、神奈川同窓会に連絡をお願いします。ハガキまたはホームページのURL:<http://hatoh.net/>の「入会案内欄」からでも結構です。また例年総会案内と一緒に年会費「払込取扱票」を同封しておりますので、未納入の方はご協力の程お願いいたします。

口座名 神奈川同窓会

口座記号番号 00250-4-□□16183(右詰め)

年会費 1,000円(送料はご負担願います)

お問い合わせ 金田 保男 Tel.045-333-4426

E-Mail: yasuo-kaneta-626531@hotmail.co.jp

訃報

ハリス初枝様

心よりご冥福をお祈り申し上げます。

編集後記

昨年は9月に台風15号、10月に19号が東日本に上陸し、神奈川にも大きな被害をもたらしました。被害に遭われた会員のみなさまもあったのではないかとお見舞い申し上げます。災害のない穏やかな年になるよう祈るばかりです。

神奈川同窓会は今年創立30周年を迎え、私達編集委員は30周年記念誌(60号)を企画しております。皆様のご協力よろしくお願ひいたします。
(佐藤 敬)